

こもれび会館の建設に更なるご協力をお願いします。

拝啓

新緑の美しい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

私共が建設を計画しております「こもれび会館」につきまして、その後の進捗状況をお知らせします。

昨年11月に基礎の構造を決めるため、建設予定地のボーリング調査を行いました。

また、こもれび会館1階の3種類の厨房(留学生の給食用、幼稚園弁当用、地域食堂用)の設計について、調理関係の職員を交えて何度も打ち合わせを行いました。

現在、銀行の融資審査を受ける為の追加資料の作成に取り組んでおり、建築確認申請のタイミングを待っています。

こもれび会館の取り組みは主に3つです。

- ① 日本語学校(2階～4階) —— 現 アジアハウス附属海風日本語学舎を「社会福祉法人 水と緑の地球と」に経営移管し、留学生の進学に取り組むと共に、日本語を母語としない地域住民への日本語教室も実施する。
- ② 保育士養成施設 —— 保育士不足に対応すると共に、低所得者の保育士資格取得を通して生活を安定させたい。
- ③ 1階食堂と子どもの居場所 —— 子ども達に学校や家庭以外の居場所を提供し、子ども同士のつながりや体験を増やしたい。
又、朝食を食べる習慣を身につけさせたい。

現在、日本は外国人労働者の受け入れを進めていますが、定住する人や日本国籍を取得する人も増加しています。

しかし、日本社会の重要な構成員としての受け入れ体制は全く不十分で、そのしわ寄せは子ども達にきています。

私たちが働く生野こもれび保育園でも、外国籍の園児は増える一方で、現在約52%がニューカマーの子ども達(ベトナム、中国、韓国、フィリピン、ネパール)です。

ほとんどの子ども達が日本語を十分に話せず、日常会話はできても小学校の教科書にある日本語の意味がわかりません。小学校の授業についていけず、日本社会で安定した生活を得るには危ういものがあります。政情不安の状況の中で、できるだけ日本社会の歪みをなくすことが日本を強くすることだと思います。

私たちは微力ではあっても自分たちの足元でできることをしていきたいと思います。その取り組みの拠点としての「こもれび会館」を建設したいのです。

今後とも御支援をお願いすると共に、より多くの方々にこの取り組みを知らせていただけましたら幸いと存じます。

今年も不安定な気候や酷暑が予想されます。くれぐれもお体を大切になさってください。

敬具

2025年4月23日

社会福祉法人 水と緑の地球と

理事長 辻本 慶子

社会福祉法人 水と緑の地球と

生野こもれび保育園

園長 廣中 大輔

こもれび会館収支報告

(2024年4月1日～2025年3月31日)

<関西みらい銀行(生野中央支店)>

(収入)

前年度繰越残高	3,007,896 円
御寄附(4件)	332,000 円
利息	565 円
郵便振込口座より移動入金	1,685,455 円
役員貸付	2,900,000 円

7,925,916 円

(支出)

残高証明発行手数料	660 円
振込手数料	1,870 円
こもれび会館設計料(ウズラボ設計事務所)	4,600,000 円
こもれび会館構造設計料(桃李舎)	1,265,000 円
ボーリング調査(三友土質エンジニアリング)	938,300 円
役員貸付一部返済	1,000,000 円

7,805,830 円

残高 120,086 円

<郵便振込>

(収入)

前年度繰越残高	598,678 円
御寄附(9件)	1,090,000 円

1,688,678 円

(支出)

振込手数料	913 円
振込通知料金	1,210 円
残高証明発行料	1,100 円
関西みらい銀行へ移動	1,685,455 円

1,688,678 円

郵便振込口座

00930-4-213435

社会福祉法人 水と緑の地球と

残高 0 円

こもれび会館 新築計画

- 用途 : 日本語学校
 保育士養成施設
 食堂・厨房
- 構造 / 規模 : 鉄骨造 4階建
 延床面積約 500㎡
- 設計監理 : ウズラボ一級建築士事務所
 uraco 建築設計舎
- 構造設計 : 桃李舎一級建築士事務所

